研究紀要『絵本学』執筆要綱

2024.8.8 改訂

新	旧	備考
執筆はこの要項に準拠すること。 【基本事項】 1.使用言語：日本語	執筆はこの要項に準拠すること。 【基本事項】 1.使用言語：日本語	
2.原稿体裁 1）投稿時には、抄録（和文）＋本文から構成する。図・写真・表などの図版がある場合は、本文の後に加える。必ず完成原稿であること。 2）掲載決定後、英文の抄録も提出すること。 3）原稿は A4 版、横書き。	2.原稿体裁 1）投稿時には、抄録（和文）＋本文から構成する。図・写真・表などの図版がある場合は、本文の後に加える。必ず完成原稿であること。 2）掲載決定後、英文の抄録も提出すること。 3）原稿は A4 版、横書き。	
3.抄録 1）和文抄録は 400 字以内、英文抄録は単語数にして約 200 語程度で記述する。なお、英文タイトルはタイトルケースで表記すること。 2）和文抄録には冒頭に原稿の種類（研究論文・研究ノート・論説のいずれかを記載）、タイトル（和文と英文）、キーワード 3 語を明記すること。これらは抄録の文字数に含めない。執筆者名は査読の際に伏せるため、記さないこと。	3.抄録 1）和文抄録は 400 字以内、英文抄録は単語数にして約 200 語程度で記述する。 2）和文抄録には冒頭に原稿の種類（研究論文・研究ノート・論説のいずれかを記載）、タイトル（和文と英文）、キーワード 3 語を明記すること。これらは抄録の文字数に含めない。執筆者名は査読の際に伏せるため、記さないこと。	(追加)
4.本文分量 1）本文は２段組とし、１段につき文字数 23 字×行数 44 行で作成する。 2）研究論文は原則として註・引用文献・参考文献を含めて、4〜8 頁（削除)。 3）研究ノートは原則として註・引用文献・参考文献を含めて、 4〜6 頁（削除)。 4）論説は原則として註・引用文献・参考文献を含めて、4 頁（削除）以内。 5）掲載決定後の原稿では、本文の前に原稿の種類、タイトル（和文と英文)、執筆者名（ローマ字表記も)、所属または職名、専門分野、キーワード、抄録（和文と英文）を記す。これらは本文分量に含めない。	4.本文分量 1）本文は２段組とし、１段につき文字数 23 字×行数 44 行で作成する。 2）研究論文は原則として註・引用文献・参考文献を含めて、4〜8 頁（文字数にして 7,000 字〜15,000 字)。 3）研究ノートは 4〜6 頁（文字数にして 7,000 字〜11.000 字)。 4）論説は 4 頁（文字数にして 7,000 字）以内。 5）掲載決定後の原稿では、本文の前に原稿の種類、タイトル（和文と英文)、執筆者名（ローマ字表記も)、所属または職名、専門分野、キーワード、抄録（和文と英文）を記す。これらは本文分量に含めない。	(削除) (追加) (削除) (追加) (削除)

研究紀要『絵本学』執筆要綱

2024. 8. 8 改訂

5.図版（図・表・写真など） 1）モノクロを原則とする。カラー図版の場合、費用（実費）は執筆者の自己負担とする。 2）図版は本文の後に頁を改めて配置し、本文中への挿入はしない。 3）使用する図版数は限定しないが、研究論文・研究ノート・論説ともに本誌 4 頁以内とする。	5.図版（図・表・写真など） 1）モノクロを原則とする。カラー図版の場合、費用（実費）は執筆者の自己負担とする。 2）図版は本文の後に頁を改めて配置し、本文中への挿入はしない。 3）使用する図版数は限定しないが、研究論文・研究ノート・論説ともに本誌 4 頁以内とする。	
6.査読における匿名性の確保 1）執筆者名および所属機関名、またはそれらを特定できる情報を原稿に含めないこと。 2）謝辞、研究助成資金等は記載しないこと。掲載決定後の記載は可。 3）所属大学や所属組織等の研究倫理審査委員会の承認を受けたことを記載する場合は、大学名や組織名を伏せて「所属大学／所属組織の研究倫理審査委員会の承認を受けた」などと記載し、掲載決定後に名称を記す。	6.査読における匿名性の確保 1）執筆者名および所属機関名、またはそれらを特定できる情報を原稿に含めないこと。 2）謝辞、研究助成資金等は記載しないこと。掲載決定後の記載は可。 3）所属大学や所属組織等の研究倫理審査委員会の承認を受けたことを記載する場合は、大学名や組織名を伏せて「所属大学／所属組織の研究倫理審査委員会の承認を受けた」などと記載し、掲載決定後に名称を記す。	
7.著者校正 原則 1 回のみ。入力ミスの訂正など最低限の校正とする。	7.著者校正 原則 1 回のみ。入力ミスの訂正など最低限の校正とする。	
8.進呈 執筆者には、掲載誌 3 部を無料進呈する。	8.進呈 執筆者には、掲載誌 3 部を無料進呈する。	
9.抜刷 掲載が決定した段階で希望部数を受け付ける。30 部、50 部、100 部単位で、費用（実費）は執筆者が負担する。	9.抜刷 掲載が決定した段階で希望部数を受け付ける。30 部、50 部、100 部単位で、費用（実費）は執筆者が負担する。	
10.原稿の提出方法 1）投稿時は、抄録、本文、図版を（削除）PDF ファイルにまとめ、メールに添付し、紀要編集委員会に提出する。紀要編集委員会のメールアドレスは、絵本学会ホームページで確認すること。	10.原稿の提出方法 1）投稿時は、抄録、本文、図版を 1 つの PDF ファイルにまとめ、メールに添付し、紀要編集委員会に提出する。紀要編集委員会のメールアドレスは、絵本学会ホームページで確認すること。	（削除）

2）メール本文に執筆者に関する以下の情報を明記する。共著の場合は共同執筆者の分も含める。 ①氏名（ふりがな付き）②所属または職業 ③専門分野 ④連絡先住所・電話番号・メールアドレス 3）掲載決定後は、抄録、本文、図版の PDF ファイルに加え、Word ファイルも提出する。図版原稿に画像がある場合は、原則として 300dpi 以上の高解像度の画像ファイルも別に提出すること。 【本文表記・表示】 1.文章：原則として常用漢字を使用し、仮名づかいは現代かなづかいと新送り仮名に従い、常体とする。ただし、特別の事由があるときは、この限りではない。 2.句読点：「、」および「。」とする。 3.符号：論文名あるいは引用文の表示には「 」を使用し文中における書名、誌（紙）名の表示には『 』を使用する。 4.数字および欧文：半角文字を使用する。 5.固有名詞：（特に外国語の場合）文中初出の人名は、必要に応じてフルネームをカナ書きし、その後に（ ）で、原綴りを付記する（ただし、ミドルネームの頭文字は原語のままとする）。官公庁、研究機関については、原綴りを補記する。 6.見出し：本文中の見出し（章、節、項など）は番号を付け、左揃えを原則とする。 7.註・引用文献：註は該当用語または該当センテンスの右肩に番号のみを表記し、本文の後ろに一括して番号順に記載する。他の文献などか	2）メール本文に執筆者に関する以下の情報を明記する。共著の場合は共同執筆者の分も含める。 ①氏名（ふりがな付き）②所属または職業 ③専門分野 ④連絡先住所・電話番号・メールアドレス 3）掲載決定後は、抄録、本文、図版の PDF ファイルに加え、Word ファイルも提出する。図版原稿に画像がある場合は、原則として 300dpi 以上の高解像度の画像ファイルも別に提出すること。 【本文表記・表示】 1.文章：原則として常用漢字を使用し、仮名づかいは現代かなづかいと新送り仮名に従い、常体とする。ただし、特別の事由があるときは、この限りではない。 2.句読点：「、」および「。」とする。 3.符号：論文名あるいは引用文の表示には「 」を使用し文中における書名、誌（紙）名の表示には『 』を使用する。 4.数字および欧文：半角文字を使用する。 5.固有名詞：（特に外国語の場合）文中初出の人名は、必要に応じてフルネームをカナ書きし、その後に（ ）で、原綴りを付記する（ただし、ミドルネームの頭文字は原語のままとする）。官公庁、研究機関については、原綴りを補記する。 6.見出し：本文中の見出し（章、節、項など）は左揃えを原則とする。 7.註・引用文献：註は該当用語または該当センテンスの右肩に番号のみを表記し、本文の後ろに一括して番号順に記載する。他の文献などか	（追加）

ら引用する場合は、出典を明示するものとする。引用は公正な慣行に合致し、かつ引用の目的上正当な範囲内に限ること。 8.参考文献：註・引用文献の後に一括して記載する。註・引用文献と同じものがある場合には、参考文献に記載しない。 9.書誌記載法 原則として、以下の内容を、以下の順序で記載する。 1）図書：著者名「論文名または章立てなどの見出し」『書名』（シリーズ名などがあれば記載） 出版社名、発行年、頁 2）紀要・雑誌・新聞：著者名「記事（論文）名」『掲載誌名』〇巻〇号、発行年（月日）、頁 3）翻訳書・記事：原著者名、翻訳者名「記事（論文）名」または『書名』（シリーズ名などがあれば記載）出版社名、発行年（月日）、頁 【図版表示】 1.図版（図・写真・表など）に通し番号をつけ、本文の後に頁を改めて配置する。１頁の左右上下の余白を十分にとること。 2.本文中で図版の説明をする際、対応する図版を明示する。示し方は、図（写真も含む）と表を区分して、（図 1）、（表 1）のように表し、該当用語または該当センテンス末に記載する。 3.図版には必要に応じてキャプションを記す。図版の出典、クレジットなどを示す必要のある場合には、キャプションの末尾に記す。 4.図版の著作権上の掲載許可については、執筆者自身が自らの責任において（削除）適正に行い、その旨を記載すること。 付記	ら引用する場合は、出典を明示するものとする。引用は公正な慣行に合致し、かつ引用の目的上正当な範囲内に限ること。 8.参考文献：註・引用文献の後に一括して記載する。註・引用文献と同じものがある場合には、参考文献に記載しない。 9.書誌記載法 原則として、以下の内容を、以下の順序で記載する。 1）図書：著者名「論文名または章立てなどの見出し」『書名』（シリーズ名などがあれば記載） 出版社名、発行年、頁 2）紀要・雑誌・新聞：著者名「記事（論文）名」『掲載誌名』〇巻〇号、発行年（月日）、頁 3）翻訳書・記事：原著者名、翻訳者名「記事（論文）名」または『書名』（シリーズ名などがあれば記載）出版社名、発行年（月日）、頁 【図版表示】 1.図版（図・写真・表など）に通し番号をつけ、本文の後に頁を改めて配置する。１頁の左右上下の余白を十分にとること。 2.本文中で図版の説明をする際、対応する図版を明示する。示し方は、図（写真も含む）と表を区分して、（図 1）、（表 1）のように表し、該当用語または該当センテンス末に記載する。 3.図版には必要に応じてキャプションを記す。図版の出典、クレジットなどを示す必要のある場合には、キャプションの末尾に記す。 4.図版の著作権上の掲載許可については、執筆者自身が自らの責任において 事前に適正に行い、その旨を記載すること。 付記	（削除）

研究紀要『絵本学』執筆要綱

2024. 8. 8 改訂

1.字句の表記、図版掲載およびレイアウトなどについて紀要編集委員会から相談する場合がある。 2.英文タイトルと英文抄録については、ネイティブチェックを済ませること。 3.この要項に記されていない事項については、紀要編集委員会が判断する。 2024 年 8 月 8 日改訂	1.字句の表記、図版掲載およびレイアウトなどについて紀要編集委員会から相談する場合がある。 2.英文タイトルと英文抄録については、ネイティブチェックを済ませること。 3.この要項に記されていない事項については、紀要編集委員会が判断する。 2022 年 3 月 9 日改訂	